

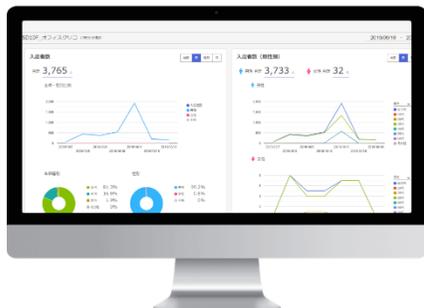


2020年3月期 第2四半期主要事業進捗

「OPTiM AI Camera」 新サービスを発表： 「OPTiM AI Camera Lite」 「OPTiM AI Camera Mobile」 「OPTiM AI Creator」

エントリープランとスマホだけで使えるサービスが登場、
お客様によるAIの追加作成も実現

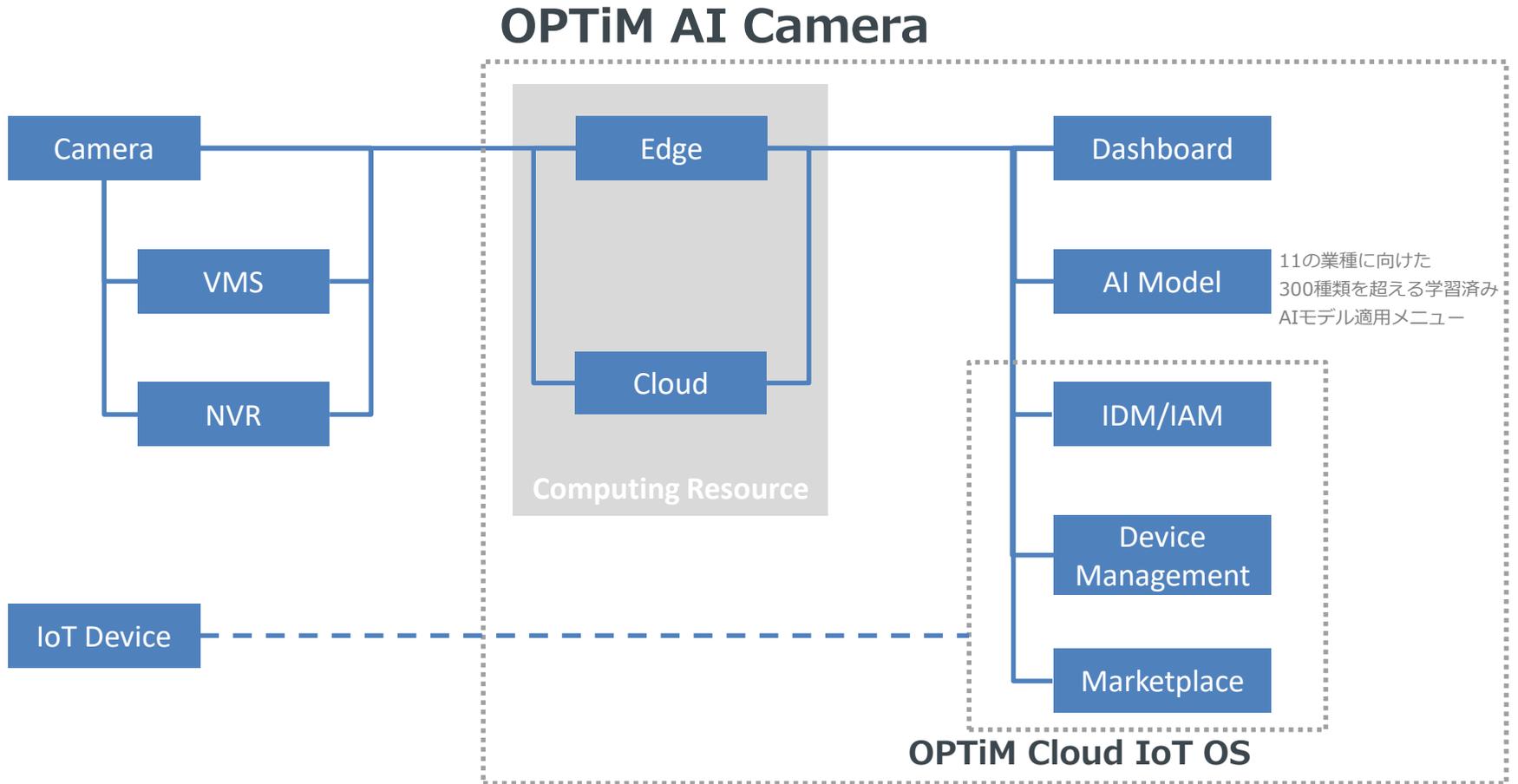
■ 解析結果閲覧イメージ



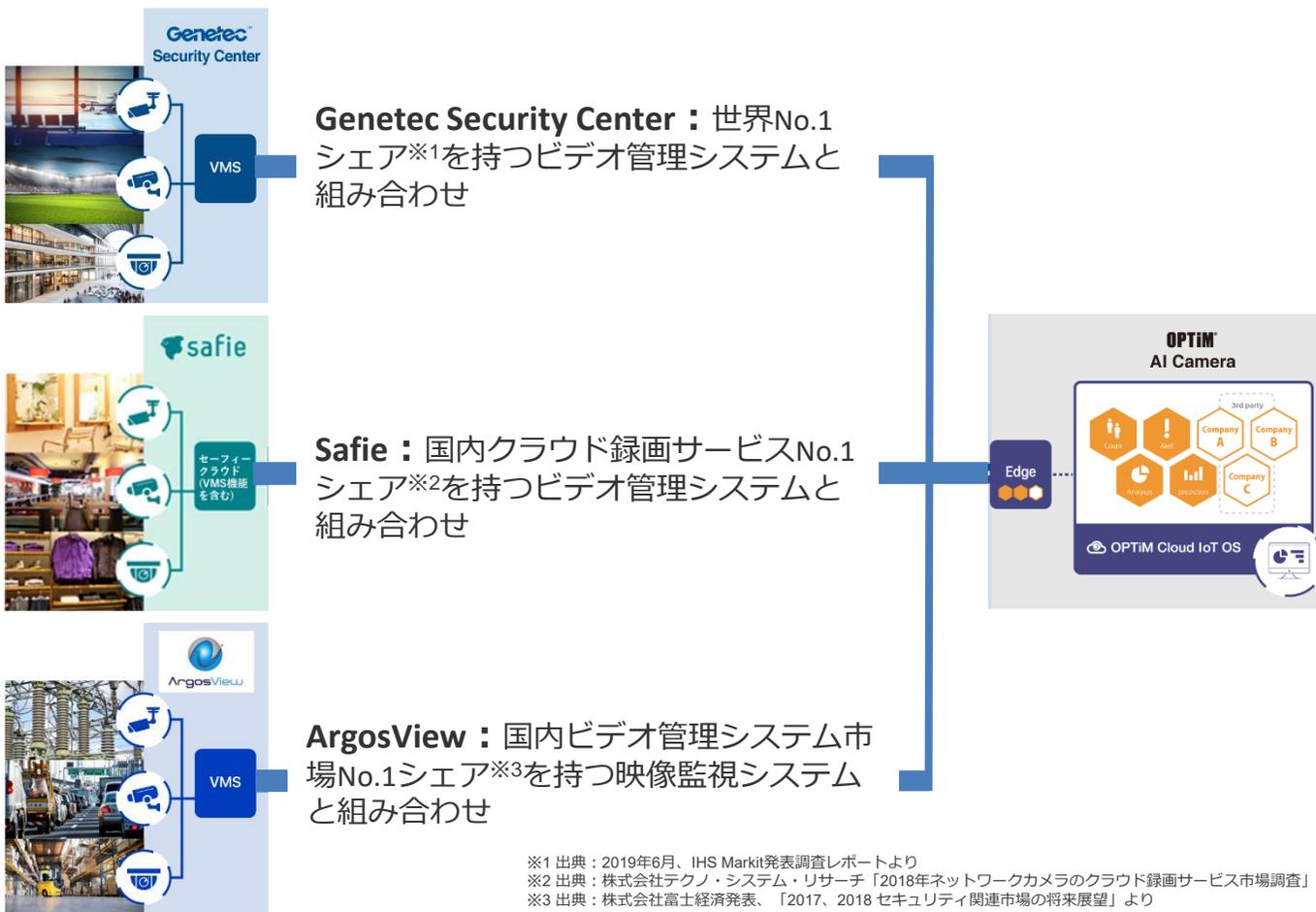
スマホ・タブレットを使って始められる
AI画像解析サービス



紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/GUy830D4BWM>
https://youtu.be/wV8Ckj_Mel



「OPTiM AI Camera」 ビデオ管理システムとの連携を拡大 ～オプティムのAI Cameraサービスが拡大～



※1 出典：2019年6月、IHS Markit発表調査レポートより
 ※2 出典：株式会社テクノ・システム・リサーチ「2018年ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査」、2017年クラウド録画サービスカメラシェア
 ※3 出典：株式会社富士経済発表、「2017、2018 セキュリティ関連市場の将来展望」より

「OPTiM AI Research」 「OPTiM AI Signage」を発表

AIによる詳細な顧客分析、店頭におけるピンポイントでのマーケティングを実現

■ 「OPTiM AI Research」



小売店舗内に設置されたタブレット・カメラによって画像解析を行い、商品に対するお客様の反響を収集するAIサービス

■ 「OPTiM AI Signage」

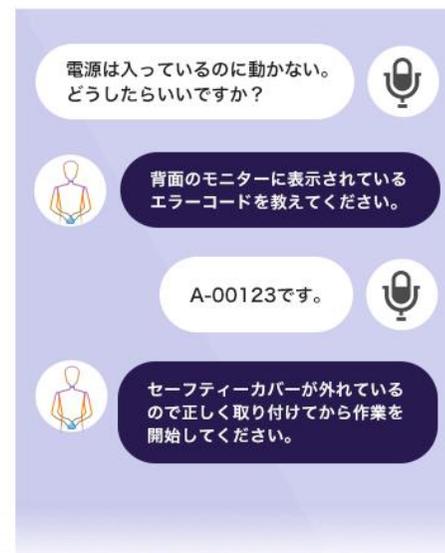


タブレットやデジタルサイネージ端末など、現場に設置された広告媒体に対して、まるでWeb広告のような感覚で広告出稿・運用できるサービス

紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/1en2pWrTafw>

AIアシスタントが音声でユーザー対応・機器の稼働監視をサポート

OPTiM[®] AI Guide β

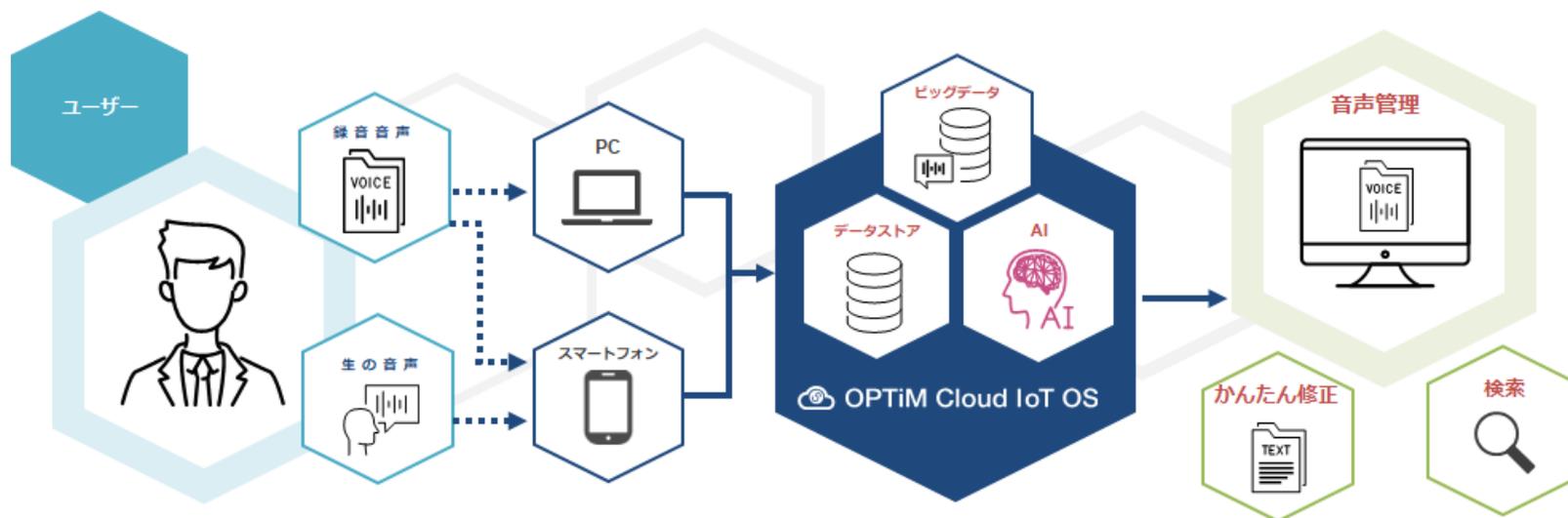


- ・ 機器トラブルを迅速に解決
- ・ 業務効率を落とさずサポート可能
- ・ サポートにかかるコストの削減

紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/UHQkFOUMIEA>

AI音声解析サービス 「OPTiM AI Voice Recorder」を発表

「OPTiM AI Voice」を大幅バージョンアップ、月額8,300円から利用可能



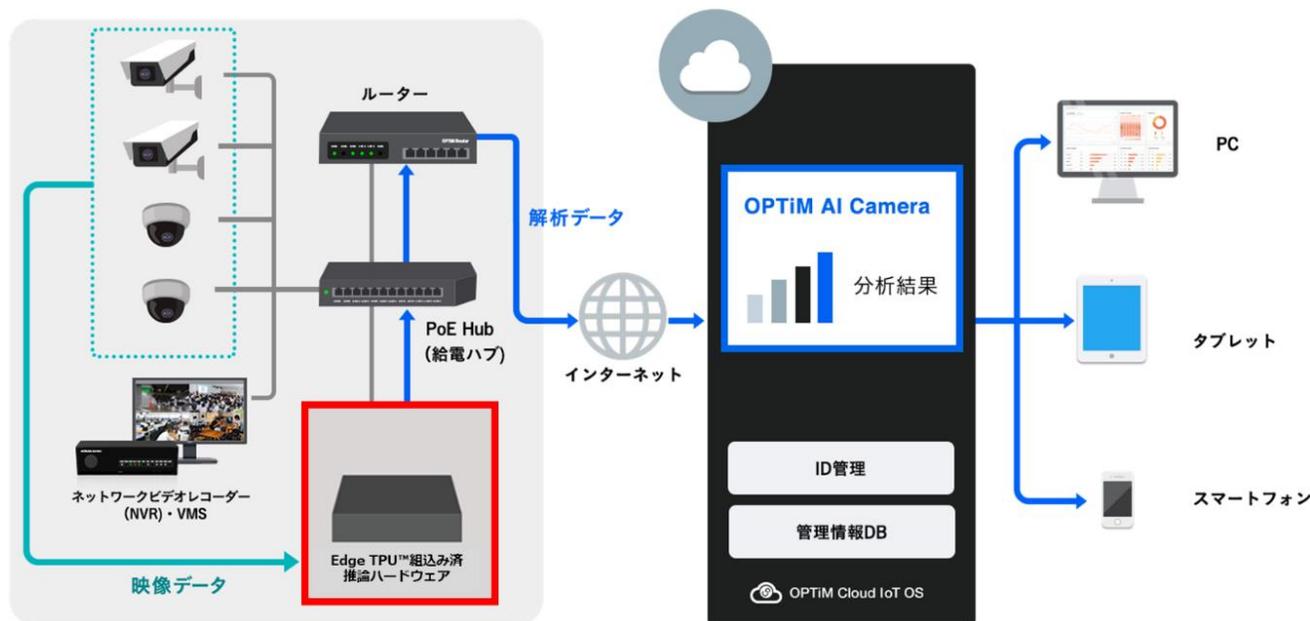
AIによるリアルタイム音声認識・テキスト変換の基本機能はそのまま、「データ保存」「データ検索」の2つの機能を強化。従来のAIを用いた文字起こしによるコスト削減に加え、会議やお客様対応などの場面でまず録音だけを行い、あとから必要な箇所だけを解析・データ化するなど、記録を残す目的でご利用いただくことも可能。

エッジコンピューティングデバイス 「OPTiM Edge」シリーズ、新モデルを発表

高い性能を持つ推論インスタンスを
より低コストに組合せてAIサービスを構築できることが期待



「OPTiM AI Camera」と、Google™が提供する「Edge TPU™」を組み込んだ推論ハードウェアとの接続実証を完了し、エッジコンピューティングデバイス「OPTiM Edge」シリーズの新モデルのプロトタイプバージョンを追加



オプティムのAIソリューションが 4部門で市場シェアNo.1を獲得

～ ミック経済研究所発刊の調査レポートにおいて ～

OPTiM® AI Industry



オプティムのAIソリューションが、業種別売上高動向の「農林水産業」・「医療」部門、ユーザー従業員規模別売上高動向の「ユーザー従業員数300名未満の売上動向」部門、測定・観察・探索市場動向の「測定・観察・探索ベンダーシェア」の4部門でシェア1位※1を獲得

※1 出典：ミック経済研究所 2019年9月17日発刊、「AI（ディープラーニング）活用の画像認識ソリューション市場の現状と展望【2019年度版】」より

スマート農業に対する課題解決をワンストップで支援する 「スマート農業プロフェッショナルサービス」を開始

～スマート農業に必要なあらゆるハードウェア、
ソフトウェア、サービスを一括で提供～



生産法人や大規模企業の課題に対し、スマート農業向けハードウェア、ソフトウェア、サービスと当社の農業領域のノウハウを活かしたコンサルティングサービスをあわせてワンストップで課題解決を目指すサービス

オプティムとVNPT、ベトナムにおける AIサービスおよびスマート農業分野において業務提携

VNPT(Vietnam Posts and Telecommunications Group) :
ベトナム最大※1通信キャリア国営ベトナム郵政通信グループ



両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用したベトナムにおけるAIカメラサービス、スマート農業事業の展開を通じて、現地の産業の発展と人々の健やかな暮らしの実現に貢献して参ります。

※1 出典：2017年7月7日VNPT調べ、固定ブロードバンド市場において。
<http://www.vnpt.vn/en/News/NewsEvents/View/tabid/219/newsid/46714/seo/VNPT-accounts-for-47-of-the-fixed-broadband-market/Default.aspx>

オブティムとエンルート、AI・IoT・ドローンを活用した スマート農業分野での協業を発表

∞ 農業 × IT Solutions

OPTiM[®]

ENROUTE

<協業検討内容>

1. ピンポイント農薬散布を実現する圃場(ほじょう)管理サービス「Agri Field Manager(アグリ フィールド マネージャー)」と、農業用大型ドローンを連携させ、自動飛行散布ドローンの開発を目指します。
2. オブティムのAI解析技術やスマート農業ソリューションと、エンルートのロボティクス技術を連携させ、スマート農業を実現するサービス提供を目指します。
3. オブティムとエンルートは2020年3月を目標に、新サービスを販売開始する検討を行います。

AIやドローンを使い、 農薬使用量を抑えたあんしん・安全なお米 「スマート米2020」、2019年度産新米の販売を開始



残留農薬
不検出

スマート米2020

(2019年度産新米)

とっても体にやさしい お米できました。

ドローンで撮影した田んぼの画像をAIにより解析することで、
病害虫の発生箇所を特定し、必要な場所のみピンポイントで
農薬を散布する農法で栽培したお米です。


SMART AGRI FOOD
買てる人も、食べるひと、みんなウレシイ

■ 「スマート米2020」 (2019年度産) 取扱品種

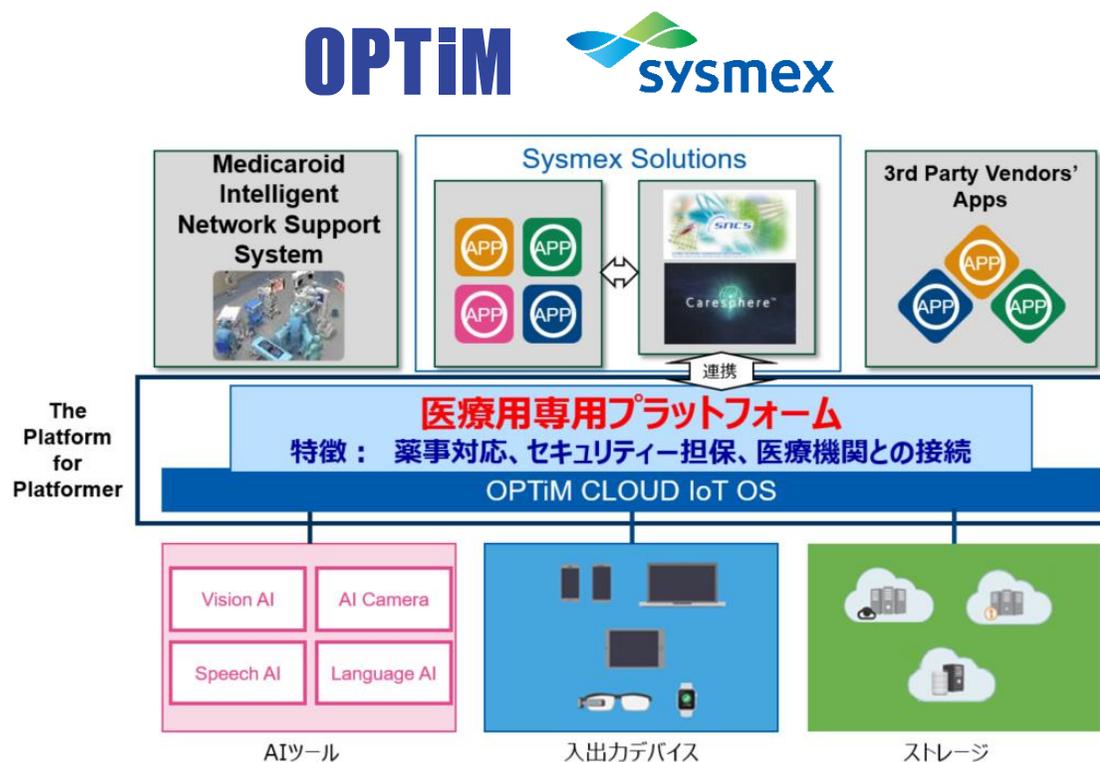
佐賀県産「さがびより」・大分県産「にこまる」・福岡県産、佐賀県産「ヒノヒカリ」

青森県産「まっしぐら」・佐賀県産「夢しずく」 (2019年産より新発売)

青森県産「つがるロマン」 (2019年産より新発売)・新潟県魚沼産「コシヒカリ」 (2019年産より新発売)

オプティムとシスメックス、次世代の医療・診断を支える デジタル医療の事業化加速を目的に合併会社設立に向け基本合意

～デジタル医療に関するプラットフォームとアプリケーション
の早期提供を目指す～



オプティムとメディカロイド、 次世代医療用ロボットに関連する業務において業務提携



両社のシナジーを最大限に発揮し、高度なAI・IoT技術を応用した次世代手術支援ロボットシステムの開発を通じて、理想の医療の実現へ取り組んでまいります。

聖路加国際大学とオプティム、「OPTiM AI Camera」を用いた 手指衛生モニタリング手法の評価を行う共同研究を開始



聖路加国際病院で現在取り組んでいる、サーベイランスカメラ（監視カメラ）を用いた直接観察法※1による手指衛生モニタリングにおいて、モニタリング対象区間をAIにより自動抽出する機能を併用した場合、手指衛生実施率、観察される手指衛生機会数、モニタリングの所要時間がどのような影響を受けるのか評価

※1 出典：観察者が、所定場所・所定時間内にて、手指衛生の実施を要する回数と、実際の対象者の手指衛生実施回数を観察して記録する方法

オプティムと川崎重工、 精密機械・ロボット分野のAI・IoT活用における業務提携

OPTiM

 **Kawasaki**
Powering your potential



両社は、様々な産業での活躍が期待される精密機械・ロボットをネットワークに接続し、得られる情報をAIが解析するプラットフォームを構築することで、精密機械・ロボット分野におけるAI・IoT技術を生かした、新たなビジネスソリューションの早期開発・事業化とグローバル展開を目指します。

オプティムと松尾建設、 AI・IoT技術を活用した取り組みを推進すべく、 「建設×IT 戦略的包括提携」を締結

建設×IT 戦略的包括提携



<戦略的包括提携内容>

1. AI等の技術を活用したスマホ3次元測量サービス・アプリケーションの開発
2. 「OPTiM AI Camera」等を活用した建設現場安全管理システムの導入
3. AIや遠隔支援技術を活用した建設会社向け技術者支援システム（OB・OG技術者活用プラットフォーム）の検証・開発など



<https://youtu.be/HyT-P3LgwEM>

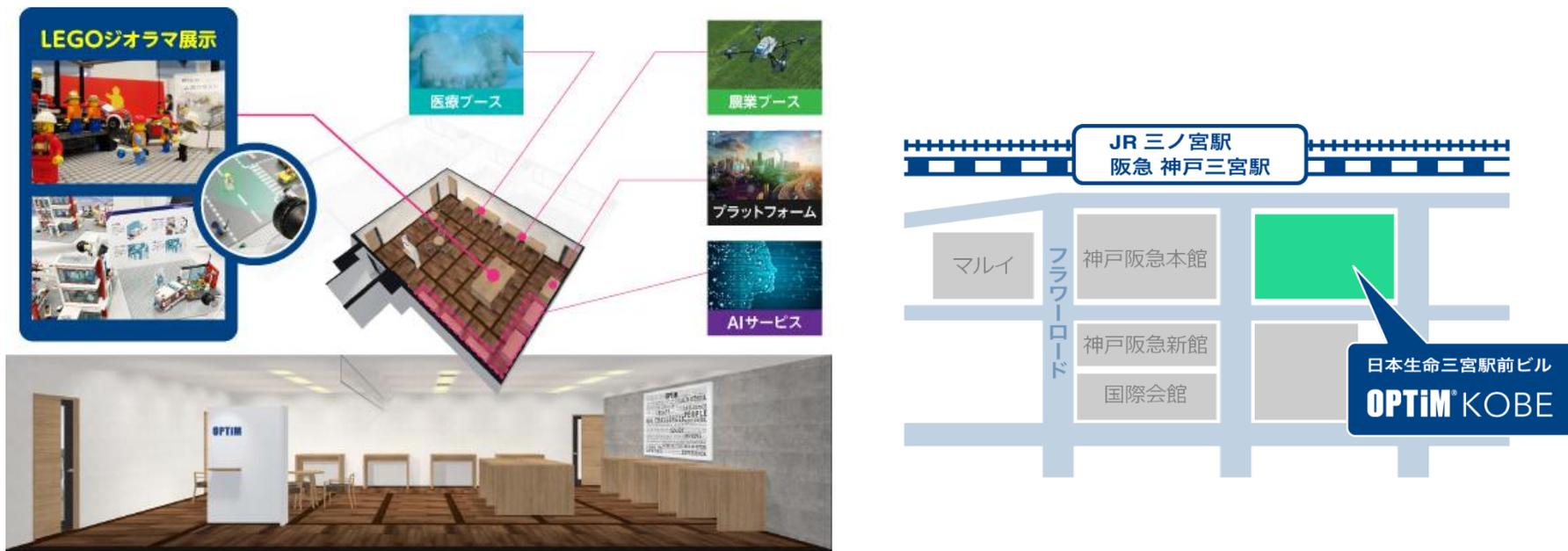
「OPTiM INNOVATION 2019」を開催



AIの未来とあらゆる産業のビジョンがここに集まる

「イノベーション」をテーマとした本イベントでは、先進企業様のAI活用事例を交え、あらゆる産業での最先端テクノロジーの活用方法をご提案します。AI・IoTを活用して、業務の効率化、あたらしいビジネス価値の創造を考えておられるお客様のヒントになれば幸いです。

「OPTiM KOBE」を新たに開設



「OPTiM KOBE」内では、オプティムが取り組んでいるAI・IoT・Roboticsを活用した取り組みについてご覧いただけるショールームが併設されております。今後、「OPTiM KOBE」を関西エリアでの活動拠点とし、「医療×IT」や「ロボット×IT」、「農業×IT」などを推進してまいります。

紹介動画URLはこちら：<https://youtu.be/Yf9HEFaR8IM>



2020年3月期 通期業績見通し



(連結経営成績 単位：百万円)

	2019年3月期 実績 (注1)	2020年3月期 予想	前年比 (注2)
売上高	5,468	6,563	120.0%
営業利益	96	1~1,313	-99.0%~1,360.7%
経常利益	145	1~1,313	-99.3%~902.2%
純利益	11	0~814	-94.5%~7,215.5%

(注1) 2019年3月期実績は単体決算の実績です。

(注2) 前年単体実績との比較となります。

- 2020年3月期の業績は、創業来20期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長による、売上65.6億は達成可能な見通しです。
- 「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において積極的な開発投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための活動を進めてまいります。
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。
- ただし、「第4次産業革命」に向けた事業展開を行う中、更なる事業機会を発見した場合には、計画値にとらわれず大型な投資も行い、速やかに開示します。

〇〇×IT戦略に対する投資継続

更なるAI・IoT・Roboticsの技術獲得
及び売上計上に向けた取組を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。（年数は、年度表示）

研究開発投資推移イメージ





第4次産業革命の中心的企业になる

OPTiM

www.optim.co.jp

OPTiM